

京都芸術大学 大学院 修士課程・博士課程 入学者の選抜に関すること

大学院修士課程 入学者選抜の概要

1. 合否判定の方法と基準

研究計画書、論文またはポートフォリオの審査、面談などを通じ、研究や表現技術の優劣に偏らない、多角的な評価基準を持つ総合的な入学試験を実施します。アドミッション・ポリシーに基づき、教授会での審議を経て学長が合否を決定します。

● 求める資質・能力

[芸術専攻]

- ・高度な研究・制作を遂行するための専門的能力
- ・既存の価値観や枠組みにとらわれない柔軟な発想力
- ・多様な価値観を尊重し、他者と誠実に向き合い、信頼関係を構築できること
- ・国際文化交流や学術交流への意欲
- ・日本語と英語の読解力・表現力を有していること
- ・学修に支障のない基礎的日本語能力

[芸術環境専攻]

- ・社会の課題に真摯に向き合い、みずからの力で解決をはかろうとする意欲を持っていること
- ・芸術に関する基礎的な教養を有し、柔軟な思考とコミュニケーションの能力を有していること
- ・各自の専門分野に応じて、修士研究・修士制作を遂行しうる基礎的な能力を有していること
- ・日本語と英語の読解力・表現力を有していること

● 選抜方法と提出書類 専攻・領域により内容が異なります。

・研究計画書：日本語1,200～2,000字程度（研究内容、年次計画等）

※芸術実践領域アート&キュレトリアル・プラクティス分野志願者は、日本語1,200～2,000字程度または英語600～1,000語程度。

・小論文（英語）：500～1,000語程度。

小論文のテーマ例「修士課程修了後のキャリアプラン」

・専門成果（以下より一つ選択）：

【A】論文：日本語8,000～12,000字程度。

※芸術文化研究領域志願者は必ず【A】を提出。卒業論文の提出も可。

【B】ポートフォリオ：30ページ程度。

※デザイン・映像・イラスト等の各領域志願者は5～15ページ以内。映像作品はURLリンクを設定。

2. 合理的配慮の提供に関する対応方法

- ・相談窓口：通学課程アドミッション・オフィス
- ・事前相談・申請方法：通学課程アドミッション・オフィス宛てに出願締切の1ヶ月前までに申し入れる。必要に応じて面談等を実施の上、支援内容を決定する。
- ・受験上の一般的な配慮：入学者選抜において配慮が必要な場合は、事前に相談の上、支援内容を決定する。

3. 試験問題と解答

研究計画書、論文またはポートフォリオの審査、面談による選考とし、学力試験は実施していない。

大学院博士課程 入学者選抜の概要

1. 合否判定の方法と基準

研究計画書、論文またはポートフォリオの審査、面談などを通じ、研究や表現技術の優劣に偏らない、多角的な評価基準を持つ総合的な入学試験を実施します。アドミッション・ポリシーに基づき、教授会での審議を経て学長が合否を決定します。

● 求める資質・能力

- ・専門領域における広範かつ深淵な知見を有し、かつ新たな価値観の構築にむけて真摯に取り組む姿勢を有していること。
- ・基本的には3年間で日本語による博士論文を完成させうる研究計画と遂行力を有していること。
- ・外国語(基本的に英語)による専門的語学力を有していること。

● 選抜方法と提出書類

【A 研究】

- ・研究計画書(日本語18,000～22,000字程度)
- ・小論文(英語:テーマ「博士課程修了後のキャリアプラン」)
- ・その他の研究成果(修士論文、刊行物等 ※任意提出。修士論文の場合は要約必須)

【B 研究・制作】

- ・ポートフォリオ(30ページ程度)
- ・研究計画書(日本語8,000～12,000字程度)
- ・小論文(英語:テーマ「博士課程修了後のキャリアプラン」)
- ・その他の業績(修士論文、展覧会歴、受賞歴等 ※任意提出。修士論文の場合は要約必須)

2. 合理的配慮の提供に関する対応方法

- ・相談窓口：通学課程アドミッション・オフィス
- ・事前相談・申請方法：通学課程アドミッション・オフィス宛てに出願締切の1ヶ月前までに申し入れる。必要に応じて面談等を実施の上、支援内容を決定する。
- ・受験上の一般的な配慮：入学者選抜において配慮が必要な場合は、事前に相談の上、支援内容を決定する。

3. 試験問題と解答

研究計画書、小論文またはポートフォリオの審査、面談による選考とし、学力試験は実施していない。